

代表監査委員に選任

6月10日(金)に行われた市議会において、女鳥清治さん(73歳)が監査委員として選任され、6月15日付けで就任されました。甲田町に住まわれていて、長く国税局に勤務され、現在は税理士としてご活躍されています。豊富な知識と経験、優れた人格、識見をお持ちで、公正で合理的かつ能率的な市の行政運営確保のため、監査委員としての職責を果たしていただきます。



Table listing various sports events and participants, including '第35回全日本クラブ卓球選手権大会' and '第51回全国道場少年剣道大会'.



居心地がいい。

子供がよくあいさつしてくれる。

広島駅に1時間以内で行ける。

「安心」なまち全国3位です

生活の音を

気にしなくていい。

自然が豊か。

落ち着いてるのに便利。

今回、交流会取材して、移住された方々に話を聞く中で、新たに気づかされる事が多々ありました。

参加者の半数は、Uターンで市に戻ってこられた方々です。生まれ故郷で過ごそうと決断する過程で、郷土愛の醸成が、再びふるさとへ「住む」ことにつながっているのだと感じました。

この会は、人と人のネットワークを広げるとともに、時にはイベントの企画や案を持ち寄りたり、特産品を用いた創作料理を作るなど、自分たちの地域を活性化したいという目的のもとに開かれています。

I・Uターナーの皆さんに市の良さを尋ねたところ、特に印象に残ったのが『地域のあたたかさ』という言葉でした。「小学生・中学生の子供達が元気よくあいさつをしてくれる」、「道で出会えば会話が返ってくる」など、人とのつながりや地域づくりに感じられていました。また、豊かな自然に恵まれ、四季折々につき、様々な地域行事や誇りある歴史と伝統を受け継ぐ土壌、社会資源などの良さも教えていただき、あらためて市の魅力を再発見できました。

市では、「あきたかた暮らし」を希望する人への移住・定住支援に取り組んでいます。従来の支援制度に加えて今年度からは、就労・住居・子育ての面で新たな支援メニューが増えています。機会があるごとに内容をお知らせし、効果的に取り組みを広げていきます。

※「安心」なまち全国3位のお知らせ

株式会社東洋経済新報社が全国の都市を対象に毎年公表している「住みよさランキング」において、安心度の高い自治体全国3位になりました。病院・一般診療所病床数(人口当たり)、介護老人福祉施設・介護老人保健施設定員数(65歳以上人口当たり)、出生数(15~49歳女性人口当たり)、保育施設定員数待機児童数(0~4歳人口当たり)の指標に基づき算出されています。



市長コラム

第94回

健康増進計画の成果

中山間地域である本市は、他の地域に比べ高齢化が進んでおり、医療・介護サービスの基盤強化、将来を見据えた人材の確保や本市の実情に沿った「地域包括ケアシステム」の構築が大きな課題であります。このシステムの効果的な構築にむけては、市民の健康づくりが必須要件となります。

本市では、国の健康づくり運動(健康寿命の延伸・生活習慣病の発症予防・重症化予防)などの取組みに連動し、平成19年「みんないきいき笑顔」をスローガンに、安芸高田市健康増進計画「健康あきたかた21計画(平成24年度~28年度)」を策定しました。この計画の柱は、「生活習慣病の発症予防と重症化・合併症の予防」、「こころの健康づくり」、「食生活の改善」、健康を大切にするところを育てる食育の推進の3つを中心として、施策を実施することです。計画推進に当たっては、「市民総ヘルパー構想」の理念(自助・共助・公助)のもと、高騰する医療費の抑制と健康寿命の延伸を目標に糖尿病発生と重症化予防に取組みました。この「健康増進計画」に沿って、行政と市民が自助・共助・公助の役割を明確にし、具体的に事業を進めています。

①健診受診率の向上
お太助フォンや広報を通じて、市民に健診の必要性を促し、出前等で出来るだ

け市民の居住地に近い場所を実施しています。その結果、特定健診では、対象者の半数の健康状況の把握につながり、受診率も高く推移しています。また、「健康フェスタ」や「健康ウォーキング」などを継続的に実施し、市民の健康意識の向上に努めています。

②徹底した保健指導(重症化予防事業等)の実施
自助を促進する取組みとして、健診結果から、「受診勧奨領域」、「保健指導領域」、「治療域」において、一人一人の健康状態に応じ徹底した保健指導を展開しています。特に、「治療域」を対象とした生活習慣病重症化予防事業においては、不参加者の医療費の上昇化がみられます。事業効果として、糖尿病の入院治療費と入院件数の減少、透析新期患者が減少しています。

③生活習慣病予防
市内小学校の児童を対象に血液検査と保健指導を実施し、子供の頃から生活習慣病予防に取り組むと同時に、家族全体で生活習慣病への意識を高めることを目指しています。
健康増進計画を進めた成果、本市における特定健診受診率は50%を超え県内で最高の受診率となりました。がん検診率も同様に高く、早期発見、早期治療につながり、重症化の抑止につながっています。また、全国的に医療費の上昇傾向が見られる中、本市の医療費は、平成21年度~平成23年度に平均して6~9%上昇していたものが、平成23年度~平成25年度は1~2%、平成25年度~平成26年度では1%未満に減少しています。市民の中には、糖尿病の予備軍も多くおられますが、糖尿病の発生や重症化の抑制に効果が出ている喜ばしい状況があります。